

洗濯物たたみ

小出特別支援学校川西分校（高等部） 高橋 嘉久

ねらい・目標

タオルの角を意識してたたんで重ねる。

タオルたたみの順序

- ① おしぼりタオルを物干しからかごに取り込む。
- ② かごから1枚取り出し、机に広げる。
- ③ 角を持ち、二つ折りにする。
- ④ 向きを変えて、四つ折りにする。
- ⑤ 折ったタオルを枠を置いた場所に重ねていく。
- ⑥ 枠を持ち上げ次のタオルが置けるようにする。

単元・指導の工夫

- ※ 二つ折りのやり方はそれぞれなので、四つ折りは机に縦長に置いて畳むように別に練習した。
- ※ 畳んだタオルは、常に同じ位置に置くように枠を用いた。
- ※ 枠の移動は、生徒だけで行うように徐々に支援を減らしていった。

教材、支援具



※使用した枠持ち上げた後に次のタオルを置けるように返しが付いている。

実物を用意しましたので、手にとってご覧ください。

授業の様子



成果と課題

成果

重ねていく時、角がそろっていなかったりはみ出たりしていたが、枠を使うことで、極端なはみ出しや角がそろわないということが減ってきた。

課題

今回は、正方形のおしぼりタオルであり、一般的なタオルと大きさ・形が異なる。一般的なタオルを畳む場合はより広いスペースとより多くの手順が必要になってくると思われる。